

共同研究会等一覽（二〇〇七年四月以降を掲載）

〔共同研究会〕

古代東アジア交流の総合的研究（07・4／08・3）

（代表者 王 維坤、幹事 宇野隆夫）

〔班員名〕

新宮学、井上和人、井上満郎、臼井正、小澤毅、川崎保、氣賀澤保規、肥塚隆保、小嶋芳孝、菅谷文則、関清、妹尾達彦、錢静怡、高瀬奈津子、田中俊明、土屋昌明、豊田裕章、中川あや、橋本義則、林部均、菱田哲郎、宮原健吾、門田誠一、矢野建一、合庭惇、千田稔、中谷正和、山田燮治

日本文明史の再建―生命文明の時代を求めて―（07・4／10・3）

（代表者 安田喜憲、幹事 池内 恵）

〔班員名〕

赤池学、石田秀輝、磯野宏夫、植田和弘、大熊一寛、大塚邦明、大橋力、小佐野峰忠、我喜屋まり子、加藤忠哉、河合徳枝、岸本吉生、鬼頭昭雄、河野博子、小林俊安、小林正明、佐藤文一、佐藤真弓、佐藤洋一郎、椎川忍、篠上雄彦、清水昭、下原勝憲、杉田定大、杉山洋、高橋美恵子、竹林征三、竹林征雄、田中章義

性欲の社会史（07・4／11・3）

（代表者 井上章一、幹事 新井菜穂子・松田利彦）

〔班員名〕

青木健一、赤枝香奈子、石田仁、岩見照代、梅川純代、小川順子、川井ゆう、斎藤光、阪本博志、澁谷知美、申昌浩、菅沼信彦、永井良和、中村隆文、西村大志、ノッター・デビット、古川誠、田（鴻嶋）さおり、光石亜由美、三橋順子、平松隆円、劉建輝、唐権

近代日本の公と私、官と民―比較の視点から―（07・4／11・3）

（代表者 猪木武徳、幹事 マルクス・リュッターマン）

〔班員名〕

井出文紀、上山隆大、桂木隆夫、紙谷雅子、木村真、佐伯啓思、佐藤一進、デトレフ・シャウベッカー、田島正樹、土井真一、中

岡俊介、橋本努、藤倉皓一郎、宮一穂、望月和彦、山本貴之、井上章一、松村博行

都市文化とは何か？—ユーラシア大陸における都市文化の比較史的研究—(07・4・11・3)

(代表者 白幡洋三郎、幹事 牛村 圭)

(班員名)

天野史郎、新井菜穂子、大澤直哉、長田俊樹、小野健吉、小野寺浩、川島真、越澤明、佐藤友美子、佐藤洋一郎、中昌浩、凶師宣忠、武田佐知子、竹村民郎、田中淡、豊田裕章、錦仁、端信行、原田信男、日向進、平野秀樹、藤井真生、宮一穂、矢ヶ崎善太郎、渡辺千香子、池内恵、奥野卓司、テモテ・カーン、上垣外憲一、フレデリック・クレインス、町田香、李偉、劉建輝、唐権

一八世紀日本の文化状況と国際環境(07・4・10・3)

(代表者 笠谷和比古、幹事 フレデリック・クレインス)

(班員名)

新井菜穂子、伊藤奈保子、岩下哲典、魚住孝至、落合恵美子、加藤善朗、川勝平太、郡司健、小林龍彦、小林善帆、佐伯順子、佐藤次高、高橋博巳、武井協三、竹市明弘、武内恵美子、竹村英二、谷井俊仁、谷口昭、辻垣晃一、芳賀徹、長谷川成一、林淳、原道生

平井晶子、平石直昭、平木實、藤實久美子、ヘルベルト・ブルチョウ、前田勉、真栄平房昭、松田清、松田泰代、松山壽一、水田かや乃、宮崎修多、森田登代子、横田冬彦、横谷一子、脇田修、和田光俊、稲賀繁美、上村敏文、上垣外憲一、姜鶯燕、佐野真由子、白幡洋三郎、早川聞多、パトリシア・フィスター、平松隆円、山田奨治

東アジアにおける知的システムの近代的再編成(07・4・10・3)

(代表者 鈴木貞美、幹事 劉建輝)

(班員名)

浅岡邦雄、阿毛久芳、荒川清秀、荒木正純、有馬学、池内輝雄、磯部敦、井上健、今村忠純、岩月純一、王曉葵、岡田建志、梶山雅史、金子務、川島真、川尻文彦、衣笠正晃、木村直恵、ロバート・キャンベル、小谷野敦、権藤愛順、酒井敏、佐藤一樹、佐藤パーバラ、鈴木敏昭、須藤遙子、全美星、孫安石、孫江、高柳信夫、竹村民郎、竹本寛秋、田中比呂志、陳継東、陳捷、陳力衛、津本信博、寺澤行忠、十重田裕一、中川成美、中嶋隆、橋本洋行、林正子、檜垣樹里、兵藤裕己、平野健一郎、福井純子、星野靖二、堀まどか、増田周子、松田清、真鍋昌賢、村田雄二郎、目野由希、リース・モートン、茂木敏夫、安田敏朗、安野一之、八耳俊文、山本美紀、吉岡亮、依岡隆児、李梁、林少陽、新井菜穂子、磯前順一、稲賀繁美、魏大海、テモテ・カーン、郭南燕、上垣外憲一、フレ

デリック・クレインズ、小松和彦、ジェームズ・バスキンド、マルクス・リュッターマン、カリン・グニラ・リンドバーグ、陸留弟、章清、韓東育、馮天瑜、黄克武、麻国慶、王中忱

アジアにおける家族とジェンダーの変容…近代化とグローバル化の時代に (07・4～09・3)

(代表者 落合恵美子、幹事 井上章一)

[班員名]

安里和晃、栗屋利江、石井正子、石田あゆう、上野加代子、奥井亜紗子、押川文字、嘉本伊都子、金貞任、小林和美、小山静子、施利平、鈴木伸枝、瀬地山角、タンタン・アウン、長坂格、中谷文美、朴宣美、橋本泰子、姫岡とし子、藤田道代、宮坂靖子、ミン・サン、大和礼子、山根真理、山本理子、井波律子、パトリシア・ウィスター、劉建輝

「満州」学の整理と再編 (07・4～11・3)

(代表者 劉建輝、幹事 稲賀繁美)

[班員名]

テレングト・アイトル、安藤潤一郎、井村哲郎、岡田英樹、金子務、川島真、川尻文彦、貴志俊彦、岸陽子、敵平、小林善帆、島本流、姜克實、戦暁梅、孫江、竹村民郎、单援朝、塚瀬進、西原和海

西村成雄、バイカル、平石淑子、平野健一郎、深尾葉子、松宮貴之、南誠、山田敬三、李相哲、劉岸偉、井上章一、牛村圭、尾形洋一、小都晶子、上垣外憲一、韓東育、黄自進、小松和彦、鈴木貞美、千田稔、松田利彦、王中忱

民謡研究の新しい方向 (07・4～11・3)

(代表者 細川周平、幹事 鈴木貞美)

[班員名]

石橋純、伊東信宏、井上貴子、大和田俊之、岡田暁生、柿沼敏江、倉田量介、阪井葉子、島添貴美子、高橋美樹、滝口幸子、竹内有一、武田俊輔、長尾洋子、中原ゆかり、藤田隆則、松村洋、三井徹、森博史、横井雅子、輪島裕介、早稲田みな子、片山杜秀、デイビッド・ヒューズ、林慶花

戦後政治・外交政策の検証と再定義 (08・4～10・3)

(代表者 池内恵、幹事 瀧井一博)

[班員名]

五百旗頭薫、宇野重規、遠藤乾、岡本隆司、刈部直、川島真、黒崎輝、篠田英朗、鈴木一人、土居丈朗、中山俊宏、間寧、潘亮、細谷雄一、待鳥聡史、簗原俊洋、宮城大蔵、井上章一

仏教からみた前近代と近代 (08・4・12・3)

(代表者 末木文美士、幹事 井上章一・磯前順一)

〔班員名〕

阿部仲麻呂、ゲイレン・アムスタッツ、新井菜穂子、池内恵、シルヴィオ・ヴィータ、魚川祐司、大谷栄一、神田英昭、金泰勲、オリオン・クラウタウ、田中悟、陳継東、中島岳志、西村玲、ジェームズ・バスキンド、藤井淳、藤本龍児、前川健一、吉永進一、米田真理子、稲賀繁美、小松和彦、フアム・テイ・トゥ・ザン、林淳、山田奨治、徳永誓子

植民地帝国日本における支配と地域社会 (08・4・11・3)

(代表者 松田利彦、幹事 マルクス・リュッターマン)

〔班員名〕

青野正明、庵途由香、李鐘暎、李昇燁、板垣竜太、梅森直之、大浜郁子、小川原宏幸、金貞蘭、胎中千鶴、崔眞善、陳宛好、長沢一恵、永島広紀、野口真広、ジェームズ・バクスター、春山明哲、樋口雄一、広瀬貞三、藤永壯、水野直樹、宮崎聖子、李相燦、瀧井一博、趙政男、蔡慧玉、尹海東、劉建輝、李炯植、田中隆一、福井讓、陳延媛

「東洋美学・東洋的思惟」を問う…自己認識の危機と将来への課題

(08・4・12・3)

(代表者 稲賀繁美、幹事 瀧井一博)

〔班員名〕

テレングト・アイトル、足立元、伊藤奈保子、今井祐子、鶴飼敦子、小田部胤久、金田晉、河田明久、衣笠正晃、木下長宏、金惠信、オリヴィエ・クリシヤル、呉孟晋、佐々木健一、島本流、鈴木禎宏、クリストファー・W・A・スピルマン、戦晧梅、ミシエル・ダリシエ、礪波護、西原大輔、西嶺偉、芳賀徹、畠山香織、濱下昌宏、林洋子、範麗雅、檜垣樹理、平川祐弘、平松秀樹、藤原貞朗、マリアリヘススデ・プラダリビセンテ、松原知生、武藤秀太郎、村井則子、梅定娥、安松みゆき、横山輝樹、李建志、陸偉榮、劉岸偉、李偉、新井菜穂子、磯前順一、井上章一、牛村圭、大嶋仁、古田島洋介、佐野真由子、鈴木貞美、ヨナ・シデラー、アス・シンダル、千葉慶、陳玲、蔡慧玉、朴美貞、橋本順光、デヴィッド・ハバート、平野共余子、パトリシア・フィスター、細川周平、堀まどか、ミユリエール・ラディック、山田奨治、劉建輝、マルクス・リュッターマン、王中忱、大塚絢子、岡本貴久子、韓玲玲、金炳辰、小山周子、コルネエヴァ・スヴェトラナ・アレクサンドロヴナ、陳凌虹、徳永誓子、戸矢理衣奈、長門洋平、吉本弥生、李ユンヒ、李応寿、大橋良介、厳安生、酒井順一郎、徐蘇斌、ハイエク・マティアス、

クリストフ・マルケ、柳瀬善治

文明と身体 (09・4～13・3)

(代表者 牛村 圭、幹事 劉 建輝)

〔班員名〕

岩崎徹、大東和重、加藤めぐみ、川本玲子、小堀馨子、佐伯順子、竹村民郎、永井久美子、西原大輔、平松隆円、古川優貴、山中由里子、稲賀繁美、井上章一、郭南燕、フレデリック・クレインス、古田島洋介、白幡洋三郎、堀まどか、楊爽、眞嶋亜有

日本の近代化とプロテストンティズム (09・4～11・3)

(代表者 上村敏文、幹事 笠谷和比古)

〔班員名〕

石居基夫、稲垣俊也、植木猷、魚住孝至、雲龍、小田淳一、北原かな子、黒住真、小林善帆、佐治晴夫、武内恵美子、竹村英二、谷口昭、豊田俊雄、仲秀和、中東弘、西井麻美、西江雅之、長谷川(間瀬) 恵美、長谷川成一、林香純、平石直昭、平木實、深井智朗、古屋安雄、前田勉、前田ひとみ、間瀬啓允、松山壽一、森田登代子、山根一城、佐野真由子、ジョン・ブリン、Daniel KIKAWA、George PINDUA、Fadhil SAGA、Mutwimi SAGA

日本における翻訳の文化史 (09・8～10・8)

(代表者 ジェフリー・アングルス、幹事 鈴木貞美)

〔班員名〕

安藤恭子、伊井春樹、飯田(佐藤) 祐子、井上健、江藤裕之、大村梓、ヒュー・クラーク、鴻巣友季子、佐藤ロロスベアグ・ナナ、澤田敬司、全美星、高橋睦郎、沼野充義、宮下恵美子、リース・モートン、石川肇、稲賀繁美、堀まどか、劉建輝、インドラ・リービ

怪異・妖怪文化の伝統と創造―研究のさらなる飛躍に向けて― (10・4～14・3)

(代表者 小松和彦、幹事 山田奨治)

〔班員名〕

今井秀和、香川雅信、アダム・カバット、木場貴俊、佐々木高弘、小林健二、近藤瑞木、齋藤真麻里、清水潤、志村三代子、高橋明彦、堤邦彦、常光徹、徳田和夫、永原順子、正木晃、安井眞奈美、横山泰子、飯倉義之、プラットゥ・アブラハム・ジョージ、中野洋平、徳永誓子、マーク・オンブレロ、魯成煥、朴鎔烈、マティアス・ハイエク

生命文明の時代を創造する (10・4～12・3)

(代表者 安田喜憲、幹事 フレデリック・クレインス)

〔班員名〕

赤池学、石田秀輝、石原三千代、岩田泰、上田善隆、上野景文、
戎晃司、遠藤正俊、大熊一寛、大塚邦明、大橋力、小佐野峰忠、
加藤忠哉、神谷昌岳、河合徳枝、岸本吉生、北島正一、熊野英介、
河野博子、小林俊安、小林正明、佐藤文一、佐藤真弓、椎川忍、
塩谷崇之、塩谷治子、篠上雄彦、清水昭、下原勝憲、菅節子、杉
田定大、園部信幸、竹林征三、竹林征雄、田中章義、田中克、谷
口正次、鶴謙一、十市勉、中井徳太郎、永里善彦、永野博、長野麻子、
中山厚、名越万里子、新妻弘明、仁科エミ、羽田肇、秦陽一、畠
山重篤、平川新、平野英樹、藤崎憲治、古沢広祐、本田学、前田
泰宏、真下正樹、松田美夜子、南敦資、三宅隴子、宮本昌宏、村
田泰夫、村山茂樹、森鐘一、森本英香、山根正義、吉澤保幸、笠
谷和比古、森勇一

近代日本における指導者像と指導者論（10・4～14・3）

（代表者 戸部良一、幹事 瀧井一博）

〔班員名〕

五百旗頭薫、河野仁、楠綾子、黒沢文貴、佐古丞、佐藤卓己、庄
司潤一郎、武田知己、フレドリック・ディキンソン、中西寛、奈
良岡聡智、野中郁次郎、畑野勇、波多野澄雄、猪木武徳、牛村圭
小川原正道、鈴木貞美、松田利彦、黄自進

帝国と高等教育―東アジアの文脈―（10・4～12・3）

（代表者 酒井哲哉、幹事 松田利彦）

〔班員名〕

浅野豊美、飯島渉、石川健治、石川裕之、馬越徹、片岡龍、川尻文彦、
通堂あゆみ、中生勝美、松田吉郎、米谷匡史、瀧井一博、呉密察、
金昌祿、崔鍾庫、白永瑞、劉書彦

「日本浪漫派」とアジア（10・4～11・3）

（代表者 呉 京煥、幹事 劉 建輝）

〔班員名〕

浦田義和、奥山文幸、川口隆行、河田和子、五味洵典嗣、坂元昌樹、
佐野正人、竹内清己、田中益三、長澤雅春、西原和海、西村将洋、
野坂昭雄、山崎義光、山本直人、ライアン・モリソン、稲賀繁美、
上垣外憲一、鈴木貞美

東アジア近現代における知的交流―概念編成を中心に―（10・4～
13・3）

（代表者 鈴木貞美、幹事 伊東貴之）

〔班員名〕

浅岡邦雄、阿毛久芳、荒川清秀、荒木正純、有馬学、磯部敦、井
上健、今村忠純、岩月純一、王曉葵、岡田建志、梶山雅史、金子務、

上垣外憲一、川島真、川尻文彦、衣笠正晃、木村直恵、小谷野敦、権藤愛順、佐藤一樹、佐藤バーバラ、澤田晴美、全美星、須藤遙子、孫安石、孫江、高柳信夫、竹村民郎、竹本寛秋、田中比呂志、陳継東、陳捷、陳力衛、寺澤行忠、十重田裕一、中川成美、中嶋隆野網摩利子、橋本行洋、林正子、兵藤裕己、平野健一郎、福井純子、星野靖二、増田周子、松田清、真鍋昌賢、村田雄二郎、目野由希、リース・モートン、茂木敏夫、安田敏朗、安野一之、八耳敏文、山本美紀、吉岡亮、李梁、磯前順一、稲賀繁美、郭南燕、金哲、フレデリック・クレインス、小松和彦、多田伊織、韓東育、堀まどか、依岡隆児、劉建輝、章清、馮天瑜、黃克武、麻国慶、王中忱

日記の総合的研究 (10・4～13・3)

(代表者 倉本一宏、幹事 テモテ・カーン・佐野真由子・榎本 涉)

(班員名)

蘭香代子、有富純也、池田節子、石田俊、板倉則衣、井原今朝男、今谷明、磐下徹、上野勝之、上島享、小倉久美子、小倉慈司、尾上陽介、久富木原玲、小嶋菜温子、古藤真平、佐藤全敏、佐藤泰弘、シャバリナ・マリア、下郡剛、末松剛、菅原昭英、瀬田勝哉、曾我良成、富田隆、中町美香子、中村康夫、中西和子、名和修、西村さとみ、畑中彩子、藤本孝一、堀井佳代子、松園斉、松田泰代、三橋順子、三橋正、森公章、山下克明、横山輝樹、吉川真司、吉

川敏子、カレル・フィアラ、荒木浩、稲賀繁美、井上章一、笠谷和比古、近藤好和、鈴木貞美、瀧井一博、マルクス・リュッターマン、門脇朋裕、吉田小百合、呉海航

文学の中の宗教と民間伝承の融合：宮沢賢治の世界観の再検討 (10・6～11・5)

(代表者 プラットゥ・アブラハム・ジョージ、幹事 小松和彦)

(班員名)

青木美保、牛崎敏哉、鎌田東二、黒澤勉、杉浦静、鈴木健司、中地文、萩原昌好、森三紗、望月善次、山根知子、荒木浩、稲賀繁美、鈴木貞美

夢と表象—メディア・歴史・文化— (11・4～14・3)

(代表者 荒木 浩、幹事 マルクス・リュッターマン)

(班員名)

安東民兒、池田忍、入口敦志、上野勝之、加藤悦子、河東仁、高橋文治、丹下暖子、中川真弓、林千宏、平野多恵、福島恒徳、井由紀子、松園斉、松本郁代、室城秀之、伊東貴之、榎本涉、南燕、木村朗子、倉本一宏、早川聞多、箕浦尚美、楊曉捷、李育娟、イーヴェ・コヴァチ、ヨーク・クヴェンツァー

徳川社会と日本の近代化―一七〜一九世紀における日本の文化状況と国際環境―(11・4〜14・3)

(代表者 笠谷和比古、幹事 佐野真由子)

〔班員名〕

磯田道史、伊藤奈保子、岩下哲典、上村敏文、魚住孝至、大川真加藤善朗、上垣外憲一、郡司健、小林龍彦、小林善帆、高橋博巳、武内恵美子、竹村英二、谷口昭、芳賀徹、長谷川成一、原道生、平井晶子、平木實、平松隆円、藤實久美子、前田勉、真栄平房昭、宮崎修多、宮田純、森田登代子、横谷一子、横山輝樹、脇田修、和田光俊、フレデリック・クレインス、瀧井一博、辻垣晃一

「心身／身心」と「環境」の哲学―東アジアの伝統的概念の再検討とその普遍化の試み―(11・4〜15・3)

(代表者 伊東貴之、幹事 榎本 渉)

〔班員名〕

青木隆、恩田裕正、垣内景子、片岡龍、河野哲也、黒住真、桑子敏雄、小島毅、関智英、銭国紅、高橋博巳、田尻祐一郎、陳継東、土田健次郎、手島崇裕、永富青地、西澤治彦、長谷部英一、林文孝、松下道信、水口拓寿、横手裕、李梁、末木文美士、鈴木貞美、ジョーン・ブリン、劉建輝、フレデリック・ジラルール、張翔、陳健成

新大陸の日系移民の歴史と文化(11・4〜16・3)

(代表者 細川周平、幹事 瀧井一博)

〔班員名〕

赤木妙子、アンジェロ・イシ、桑井輝子、栗山新也、小嶋茂、佐々木剛二、スエヨシ・アナ、高木(北山)眞理子、滝田(石井)祥子、竹村民郎、日比嘉高、松岡秀明、水野真理子、フェリッペ・アウグスト・ソアレス・モッタ、物部ひろみ、森本豊富、守屋貴嗣、守屋友江、柳田利夫、吉田裕美、早稲田みな子、高橋勝幸、根川幸男、エドワード・マック

仕掛けと概念…空間と時間の日仏比較建築論(11・6〜12・5)

(代表者 フィリップ・ボナン、幹事 稲賀繁美)

〔班員名〕

阿部順子、江口久美、加藤邦男、千代章一郎、田路貴浩、土居義岳、西田雅嗣、松原康介、松本裕、三宅理一、渡邊一正、セシル・アサママリブリス、シルヴィー・ブロッソワ、ジェニファー・ハサエ、ブノワ・ジャケ、ジャック・ブズー・マサビュオ、マニユエル・タルディッツ、クリステイヌ・ヴァンドルディリオザノー、朴美貞、マルク・ブルディエ、ニコラ・フィエヴェ、コリンヌ・ティリ、アンヌ・ゴッソ

デジタル環境が創成する古典画像資料研究の新時代 (11・7～12・6)

(代表者 楊 曉捷、幹事 小松和彦)

(班員名)

赤間亮、石川透、海野圭介、大谷節子、大場利康、大向一輝、小峯和明、田良島哲、千本英史、藤原重雄、荒木浩、早川聞多、ギャリー・ジェイムズ・ヒッキー、森洋久、山田奨治

人文諸学の科学史的研究 (12・4～16・3)

(代表者 井上章一、幹事 瀧井一博)

(班員名)

今谷明、上島享、上村敏文、鵜飼正樹、内田忠賢、大塚英志、長田俊樹、小路田泰直、斎藤成也、関幸彦、高木博志、高谷知佳、竹村民郎、玉木俊明、鶴見太郎、シルヴィオ・ヴィータ、藤原貞朗、安田敏朗、若井敏明、林淳、荒木浩、伊東貴之、倉本一宏

日本庭園のあの世とこの世―自然、芸術、宗教 (12・4～14・3)

(代表者 白幡洋三郎、幹事 榎本 渉)

(班員名)

小野健吉、鈴木久男、田中淡、錦仁、原口志津子、原田信男、飛田範夫、豊田裕章、日向進、水野杵紀、村井康彦、吉澤健吉、山

田邦和、多田伊織、荒木浩、ウィーベ・カウテルト、町田香、蔡敦達、陸留弟

現代民俗研究方法論の学際的研究 (12・4～13・3)

(代表者 山 泰幸、幹事 小松和彦)

(班員名)

石田佐恵子、岩本通弥、浮葉正親、門田岳久、阪本俊生、菅康弘、橋弘文、船戸修一、法橋量、山中千恵、梁仁實、飯倉義之

建築と権力の相関性とダイナミズムの研究 (12・4～14・3)

(代表者 御厨 貴、幹事 井上章一)

(班員名)

五十嵐太郎、池内恵、小宮京、佐藤信、砂原庸介、手塚洋輔、中村武生、奈良岡聡智、牧原出、松宮貴之

昭和四〇年代日本のポピュラー音楽の社会・文化史的分析―ザ・タイガースの研究 (12・4～15・3)

(代表者 磯前順一、幹事 井上章一)

(班員名)

浅尾雅俊、飯田健一郎、小野善太郎、柿田肇、金谷幹夫、黒崎浩行、中村俊夫、永岡崇、水内勇太、倉本一宏、細川周平、光平有希、

エリザベッタ・ポルク

二一世紀一〇年代日本文化の軌道修正…過去の検証と将来への提言
(12・4～16・3)

(代表者 稲賀繁美、幹事 牛村 圭)

[班員名]

テレングト・アイトル、鶴戸聡、大西宏志、小倉紀蔵、鞍田崇
呉孟晋、小崎哲哉、近藤高弘、戦晁梅、千葉慶、西田雅嗣、西原
大輔、波嵯栄ジュニア、橋本順光、範麗雅、平芳幸浩、
平松秀樹、藤原貞朗、シルヴィー・ブロッソー、クリストフ・マルケ、
本浜秀彦、山本麻友美、與那覇潤、李建志、渡邊淳司、張競、滝
澤修身、中村和恵、朴美貞、大橋良介、デンニツツア・ガブラコヴァ

万国博覧会とアジア (12・4～13・3)

(代表者 佐野真由子、幹事 劉 建輝)

[班員名]

石川敦子、市川文彦、伊藤奈保子、岩田泰、鶴飼敦子、江原規由、
川口幸也、神田孝治、中牧弘允、芳賀徹、橋爪紳也、林洋子、武
藤秀太郎、稲賀繁美、井上章一、瀧井一博、ウィーベ・カウテルト、
朴美貞、青木信夫、徐蘇斌

日本文化形成と戦争の記憶 (12・6～13・5)

(代表者 セオドア・F・クック、幹事 鈴木貞美)

[班員名]

浅田裕子、一ノ瀬俊也、ベティナ・グラムリヒロオカ、加藤(野島)
陽子、河野仁、川村湊、窪島誠一郎、小菅信子、M・G・シユフ
トール、庄司潤一郎、竹内栄美子、竹本知行、田辺明生、谷口幸代、
田谷治子クック、坪井秀人、等松春夫、直野章子、中川成美、花
崎育代、原剛、原山浩介、平瀬礼太、平野共余子、松竹京子、南
誠、宮城晴美、本康宏史、横山篤夫、吉田裕、李建志、多田伊織、
稲賀繁美、末木文美士、戸部良一、ジョン・ブリーン、磯前順一、
郭南燕、佐野真由子、瀧井一博、劉建輝、堀まどか、石川肇

日本的時空観の形成 (13・4～14・3)

(代表者 吉川真司、幹事 倉本一宏)

[班員名]

井上直樹、今津勝紀、上島享、宇野隆夫、大津透、門井直哉、上
川通夫、河上麻由子、神戸航介、佐藤早紀子、下垣仁志、武井紀
子、武田和哉、西本昌弘、畑中彩子、林部均、古松崇志、細井浩
志、本庄総子、横内裕人、荒木浩、榎本涉、徳永誓子、堀井佳代子、
劉曉峰、井上亘

日本仏教の比較思想的研究 (13・4～15・3)

(代表者 末木文美士、幹事 稲賀繁美)

〔班員名〕

阿部仲麻呂、井上克人、冲永宜司、坂井祐円、坂本慎一、佐藤弘夫、
島園進、ミシェル・ダルシエ、永井晋、中島隆博、西平直、西村玲、
モリー・ヴァラー、シルヴィオ・ヴィータ、藤田正勝、前川健一、
吉永進一、米田真理子、阿部泰郎、アントン・セビア、高橋勝幸、
アンナ・アンドレーワ、鄭濤、許佑盛

万国博覧会と人間の歴史—アジアを中心に (13・4～16・3)

(代表者 佐野真由子、幹事 井上章一)

〔班員名〕

石川敦子、市川文彦、伊藤奈保子、鶴飼敦子、江原規由、川口幸也、
神田孝治、寺本敬子、中牧弘允、芳賀徹、橋爪紳也、林洋子、武
藤秀太郎、稲賀繁美、瀧井一博、ジョン・グリーン、劉建輝、朴
美貞、青木信夫、岩田泰、ウィーベ・カウテルト、シビル・ギル
モンド、徐蘇斌

植民地帝国日本における知と権力 (13・4～17・3)

(代表者 松田利彦、幹事 瀧井一博)

〔班員名〕

飯島渉、小野容照、加藤聖文、加藤道也、川瀬貴也、河原林直人、
栗原純、慎着健、通堂あゆみ、春山明哲、洪宗郁、松田吉郎、宮
崎聖子、やまだあつし、吉川絢子、李昇燁、中生勝美、稲賀繁美、
劉建輝、朴暎美、陳延溪、李炯植

日本の教育文化の複数地域展開に関する比較研究—ブラジル・フィリ
ピン・ハワイ・アメリカの日系教育史を中心に— (13・4～14・3)

(代表者 根川幸男、幹事 井上章一)

〔班員名〕

浅野豊美、飯窪秀樹、伊志嶺安博、大浜郁子、カール呉、小林茂子、
坂口満宏、佐々木剛二、住田育法、高橋美樹、中原ゆかり、中村茂生、
西村大志、東悦子、松盛美紀子、物部ひろみ、森本豊富、柳下宙子、
吉田亮、細川周平、石川肇、小林リス・オタビオ眞登、野呂博
子

マンガ・アニメで日本研究 (13・4～17・3)

(代表者 山田奨治、幹事 荒木 浩)

〔班員名〕

飯倉義之、石田佐恵子、伊藤慎吾、伊藤遊、岩井茂樹、岡本健、
金水敏、白石さや、秦剛、山中千恵、山本冴里、油井清光、横濱
雄二、吉村和真、谷川建司、北浦寛之、小泉友則、高馬京子

日記の総合的研究の総括(13・4～14・3)

(代表者 倉本一宏、幹事 榎本 渉)

(班員名)

有富純也、板倉則衣、井原今朝男、今谷明、磐下徹、上島享、上野勝之、尾上陽介、小倉慈司、加藤友康、久富木原玲、古藤真平、近藤好和、佐藤信、佐藤全敏、下郡剛、末松剛、曾我良成、中村康夫、名和修、西村さとみ、カレル・フィアラ、藤本孝一、古瀬奈津子、松蘭斉、三橋順子、三橋正、森公章、山下克明、吉川真司、中町美香子、荒木浩、井上章一、堀井佳代子、劉曉峰

昭和戦後期における日本映画史の再構築(14・4～15・3)

(代表者 谷川建司、幹事 細川周平)

(班員名)

晏妮、板倉史明、井上雅雄、小川順子、木下千花、木村智哉、河野真理江、須藤遙子、富田美香、中村秀之、西村大志、柳下毅一郎、北浦寛之、長門洋平、ミツヨ・ワダ・マルシアーノ

戦争と鎮魂(14・4～17・3)

(代表者 牛村 圭、幹事 ジョン・グリーン)

(班員名)

今泉宜子、岩崎徹、大東和重、加藤めぐみ、川村寛文、川本玲子

金志映、古田島洋介、小堀馨子、佐伯順子、竹村民郎、等松春夫、

永井久美子、西原大輔、平松隆円、堀まどか、眞嶋亜有、吉井文美、

吉田(古川)優貴、稲賀繁美、倉本一宏、末木文美士、松田利彦、

劉建輝、磯前順一、郭南燕、徐載坤

画像資料(絵葉書・地図・旅行案内・写真等)による帝国域内文化の再検討(14・4～17・3)

(代表者 劉 建輝、幹事 北浦寛之)

(班員名)

安藤潤一郎、井村哲郎、上垣外憲一、岸陽子、呉孟晋、小林茂、

姜克夷、白幡洋三郎、鈴木貞美、戦晓梅、单援朝、塚瀬進、根川

幸男、松宮貴之、森田憲司、李相哲、劉岸偉、伊東貴之、稲賀繁美、

井上章一、松田利彦、森洋久、石川肇、陳其松、王中忱、徐興慶、

孫江

夢と表象―その統括と展望(14・4～15・3)

(代表者 荒木 浩、幹事 マルクス・リュッターマン)

(班員名)

安東民兒、池田忍、入口敦志、上野勝之、鍛治恵、加藤悦子、河東仁、

木村朗子、笹生美貴子、仙海義之、高橋文治、立木宏哉、玉田沙

織、林千宏、平野多恵、福島恒徳、藤井由紀子、松蘭斉、松本郁

代、箕浦尚美、室城秀之、伊東貴之、倉本一宏、早川聞多、榎本涉、郭南燕、丹下暖子、中川真弓、ヨーク・B・クヴェンツァー、アイヴ・コヴァチ、李育娟

おたく文化と戦時下・戦後（14・4～16・3）

（代表者 大塚英志、幹事 北浦寛之）

〔班員名〕

浅野龍哉、板倉史明、内田力、大野修一、香川雅信、菊地暁、キム・ジュニアン、木村智哉、嵯峨景子、佐野明子、須藤遙子、鶴見太郎、富田美香、中川譲、藤岡洋、細馬宏通、牧野守、室井康成、山本忠宏、秦剛、マーク・スタインバーグ

日本の軍事戦略と東アジア社会―日中戦争期を中心として―（14・6～15・5）

（代表者 黄 自進、幹事 劉 建輝）

〔班員名〕

相澤淳、浅野豊美、家近亮子、井上寿一、王柯、加藤聖文、黒沢文貴、小菅信子、佐藤卓己、澁谷由里、姜克実、鈴木多聞、田嶋信雄、段瑞聡、戸部良一、波多野澄雄、服部龍二、馬曉華、松浦正孝、松重充浩、劉傑、鹿錫俊

日本大衆文化とナシヨナリズム（14・4～15・3）

（代表者 朴 順愛、幹事 山田奨治）

〔班員名〕

市川孝一、須藤遙子、全美星、竹内幸絵、土屋礼子、寺沢正晴、油井清光、尹健次、吉田則昭、谷川建司、朴美貞

戦後日本文化再考（15・4～18・3）

（代表者 坪井秀人、幹事 磯前順一）

〔班員名〕

浅野麗、石川巧、岩崎稔、大原祐治、岡田秀則、長志珠絵、辛島理人、狩俣真奈、川口隆行、菅野優香、北中淳子、北原恵、木村朗子、高榮蘭、紅野謙介、五味潤典嗣、斉藤綾子、佐藤泉、塩野加織、島村輝、沈熙燦、申知瑛、鈴木勝雄、張政傑、十重田裕一、鳥羽耕史、戸邊秀明、成田龍一、朴貞蘭、橋本あゆみ、福岡良明、松原洋子、水川敬章、光石亜由美、美馬達哉、村上陽子、尹芷汝、李承俊、鷺谷花、渡邊英理、渡辺直紀、郭南燕、北浦寛之、石川肇、杉田智美、栄元、王莞哈、田村美由紀、増田斎、五十嵐恵邦、キャロル・グラック、酒井直樹

説話文学と歴史史料の間に（15・4～18・3）

（代表者 倉本一宏、幹事 榎本 涉）

〔班員名〕

上野勝之、内田澪子、追塩千尋、大橋直義、尾崎勇、加藤友康、川上知里、木下華子、小峯和明、佐藤信、佐野愛子、関幸彦、五月女肇志、曾根正人、多田伊織、葛尾和宏、中村康夫、野上潤一、野本東生、樋口大祐、藤本孝一、古橋信孝、保立道久、前田雅之、松蘭齊、三舟隆之、山下克明、横田隆志、呉座勇一、荒木浩、井上章一、中町美香子、谷口雄太、グエン・ニュー・ヴァー・クイン、グエン・ティ・オワイン、劉曉峰、魯成煥、宋浣範

日本の舞台芸術における身体―死と生、人形と人工体（15・9～16・

8）

〔代表者〕 ボナヴェントゥーラ・ルベルテイ、幹事 細川周平

〔班員名〕

赤間亮、板谷徹、井上理恵、岩井眞實、梅山いつき、菊地浩平、桜井圭介、佐藤恵里、滝澤修身、武井協三、竹本幹夫、カティア・チェントントツェ、土田牧子、中嶋謙昌、橋本裕之、深澤昌夫、藤井慎太郎、森下隆、山田和人、李応寿

明治日本の比較文明的考察―その遺産の再考―（15・4～18・3）

〔代表者〕 瀧井一博、幹事 牛村 圭

〔班員名〕

浅見雅男、五百旗頭薫、岩谷十郎、上野景文、植村和秀、大川真、岡本貴久子、小川原正道、勝部真人、加藤雄三、國分典子、今野元、塩出浩之、島田幸典、清水唯一朗、谷川穰、永井史男、長尾龍一、中村尚史、福岡万里子、前田勉、松田宏一郎、山田央子、奈良岡聰智、大久保健晴、林洋子、ジョン・ブリン、佐野真由子、アリスティア・スウェール、ハラルド・フース

浪花節の生成と展開についての学際的研究（16・4～17・3）

〔代表者〕 真鍋昌賢、幹事 細川周平

〔班員名〕

芦川淳平、上田学、北川純子、薦田治子、諏訪淳一郎、時田アリソン、馬場美佳、兵藤裕己、細田明宏、森谷裕美子、早稲田みな子、渡瀬淳子、延宏真治、古川綾子、瀬戸智子、朴英山

3・11以後のディスクール／『日本文化』（16・9～17・8）

〔代表者〕 ミツヨ・ワダ・マルシアノ、幹事 坪井秀人

〔班員名〕

石田美紀、久保豊、谷川建司、木村朗子、川口隆行、クリスティーナ・岩田ワイケナント、清水晶子、高橋準、菅野優香、出口康夫、水谷雅彦、一ノ瀬正樹、近森高明、西村大志、松浦雄介、アンニャ・ホップ、安本真也、須藤遙子、馬然、木下千花、大塚英志、北浦

寛之、長門洋平、王向華、金普慶

比較のなかの東アジアの王権論と秩序構想——王朝・帝国・国家、または、思想・宗教・儀礼——(16・4〜19・3)

(代表者 伊東貴之、幹事 倉本一宏)

〔班員名〕

青木隆、新井菜穂子、井上厚史、恩田裕正、垣内景子、橘川智昭、権純哲、小島毅、関智英、末末文美士、銭国紅、竹村英二、竹村民郎、田尻祐一郎、土田健次郎、永富青地、西澤治彦、長谷部英一、林文孝、松下道信、水口拓寿、横手裕、李梁、吾妻重二、新田元規、石井剛、伊藤聡、井ノ口哲也、内山直樹、遠藤基郎、大久保良峻、荻部直、黒岩高、岸本美緒、児島恭子、近藤成一、佐々木愛、杉山清彦、高柳信夫、葭森健介、保立道久、李曉東、本間次彦、松野敏之、石川洋、澤井啓一、渡邊義浩、前田勉、渡辺美季、平野千果子、中純夫、古勝隆一、茂木敏夫、張啓雄、葛兆光、手島崇裕、ベンジャミン・A・エルマン、井上章一、瀧井一博、ジョン・ブリン、松田利彦、劉建輝、榎本涉、フレデリック・クレインス、マルクス・リュッターマン、佐野真由子、山村燧

多文化間交渉における「あいだ」の研究 (16・4〜19・3)

(代表者 稲賀繁美、幹事 榎本 涉)

〔班員名〕

新井菜穂子、鶴戸聡、江口久美、大西宏志、岡本光博、小川さやか、隠岐さや香、小倉紀蔵、金子務、鞍田崇、クリストフ・マルケ、近藤高弘、申昌浩、鈴木洋仁、全美星、莊千慧、滝澤修身、武内恵美子、竹村民郎、多田伊織、千葉慶、テレングト・アイトル、戸矢理衣奈、中村和恵、西原大輔、二村淳子、朴美貞、橋本順光、籠麗雅、平松秀樹、平芳幸浩、藤原貞朗、ヘレナ・カプコヴァ、堀まどか、松嶋健、三原芳秋、マシュー・ラーキン、山本麻友美、今泉宜子、木村直恵、林洋子、郭南燕、フレデリック・クレインス、森洋久、宮崎康子、李応寿、石川肇、杉田智美、デイビット・W・ジョンソン、セシル・ラリ、長門洋平、九里文子、李ユンヒ、春藤猷一、片岡真伊、デンニツァ・ガブラコヴァ、近藤貴子、ミツヨ・デルクルールロイトナガ

差別から見た日本宗敎史再考 (16・4〜17・3)

(代表者 磯前順一、幹事 北浦寛之)

〔班員名〕

吉村智博、佐藤弘夫、鈴木岩弓、小倉慈司、片岡耕平、鈴木英生、小田龍哉、川村覚文、山本昭宏、青野正明、沈熙燦、高柳健太郎、田辺明生、菊田真司、船田淳一、太田恭治、浅居明彦、水内勇太、鍾以江、島蘭進、佐々田悠、寺戸淳子、金沢豊、西宮秀紀、舟橋

健太、幡鎌一弘、鶴見晃、河井信吉、上村静、安部智海、竹本了悟、パトリシア・フィスター、マルクス・リュッターマン、シュタイネック・智恵、シュタイネック・ラジ、ランジャナ・ムコパディヤール

日本語の起源はどのように論じられてきたか―日本言語学史の光と影 (16・4～17・3)

(代表者 長田俊樹、幹事 井上章一)

〔班員名〕

齋藤成也、安田敏朗、狩俣繁久、千田俊太郎、風間伸次郎、永澤済、児玉望、菊澤律子、林範彦、アンナ・ブガエワ、福井玲、伊藤英人、鈴木貞美、マーク・ハドソン、平子達也、杉山豊、トマ・ペラール、ジョン・ホイットマン、アレキサンダー・ヴォヴィン

投企する古典性―視覚／大衆／現代 (16・4～19・3)

(代表者 荒木 浩、幹事 稲賀繁美)

〔班員名〕

飯倉洋一、伊藤慎吾、上野友愛、岡田圭介、河東仁、恋田知子、河野貴美子、河野至恩、合山林太郎、齋藤真麻理、竹村信治、中野貴文、中前正志、野網摩利子、三戸信恵、箕浦尚美、山本陽子、渡部泰明、渡辺麻里子、マラル・アンダソヴァ、石上阿希、呉座勇一、李愛淑、土田耕督、徳永誓子、漆崎まり、ゴウランガ・チャラン・

ブラダン、チャン・ティ・チュン・トアン、ガリア・トドロヴァ、ペトコヴァ、楊曉捷、山藤夏郎、李愛淑

(文責：研究協力課)

〔基礎領域研究〕(二〇〇七年四月以降の新規研究を掲載)

比較日本文化研究基礎論 (07・4～12・3)

(代表者 小松和彦)

概要 比較論の立場から、日本文化を説明する上で重要な意味を持つ宗教の信仰形態、儀礼、美術、等の諸現象の分析を行い、日本人の精神構造のあり方を明らかにする。

中国語運用の基礎・応用 (09・7～15・3)

(代表者 郭 南燕)

概要 研究その他の業務で中国語を必要とする人に対して、中国語運用の基礎を実践的に訓練し、会話、読解、聴解の習得を目的とする。

日本宗教史基礎研究 (10・4～14・3)

(代表者 末木文美士)

概要 日本宗教史に関する基礎的な問題に関して討議する。

宗教・文化の理論的研究 (12・4～13・3)

代表者 磯前順一

概要 日本内外における宗教および文化に関する最新の理論的研究を取り上げ、文体の問題から、理論と感情の問題に至るまで幅広く考察する。

日本宗教史基礎研究 (14・4～15・3)

代表者 末木文美士

概要 日本宗教史に関する基礎的な問題に関して討議し、必要に応じて重要な文献の講読を行う。

中世文学購読 (14・4～17・3)

代表者 荒木 浩

概要 『方丈記』や『徒然草』など、日本中世文学の文献を、影印を参照し、英訳などとも対比しながら精読する。

日本近代まんが史概論 (15・4～16・3)

代表者 大塚英志

概要 サブカルチャー領域の研究を希望するこの分野の初心者に近代まんが史の初歩的な常識を概説する。

古記録学基礎研究 (15・4～17・3)

代表者 倉本一宏

概要 日本前近代の根幹的史料である古記録の解説を、原本や写本の見方・扱い方も含めて考えていく。

文学・文化史理論入門 (15・5～18・3)

代表者 坪井秀人

概要 文学および文化史に関する基礎的な理論を学びながらテクストの読解・分析の実践的方法を修得する。

近現代史料文献研究 (15・4～18・3)

代表者 瀧井一博

概要 日本近現代史の基礎史料と古典的および先端的な文献を講読し、社会科学的な歴史研究の方法と実践を討究する。